

報道関係者各位

2011年5月24日
インフォリスクマネージ株式会社

フルマネージドホスティング『Utilityz』、大阪、沖縄ディザスタリカバリサイトの提供を開始 - 東日本大震災の影響による電力供給不足を見据えた緊急対策支援 -

日商エレクトロニクス株式会社（東京都中央区 代表取締役社長 CEO：瓦谷 晋一）のグループ会社であり、ITマネジメントサービスを提供するインフォリスクマネージ株式会社（東京都江東区 代表取締役社長兼CEO：高久 勉、以下インフォリスクマネージ）は、2011年5月24日より、フルマネージドホスティングサービス『Utilityz』に企業の災害対策（ディザスタリカバリ）のニーズに対応する大阪及び沖縄サイトを新規開設し、サービス受付を開始します。

各紙の報道の通り、東日本大震災の影響により2011年7月～9月の東京電力、東北電力管内における電力需給対策に関する骨格が2011年4月8日に発表されました。また新たに中部電力、九州電力管内も電力不足が懸念される中、当該電力管内の各企業、及びデータセンター事業者は、節電対応方針が求められることが予測されます。この電力不足は、翌年以降も続くという見解もあり、首都圏及び中部、九州地方の企業にとって、事業継続上の観点から、データセンターのディザスタリカバリ対応の検討を迫られております。

インフォリスクマネージでは、このような背景から首都圏及び中部、九州地方のデータセンターをご使用のお客様や、オフィス内にサーバを設置しているお客様の以下4点のニーズにお応えするために、大阪と沖縄のサイトにおけるフルマネージドホスティング『Utilityz』のディザスタリカバリ対応のサービスを提供させていただきます。本サービスにより、お客様は大規模停電や電力使用制限の際にも事業を安定して継続することが可能となります。

- ① 首都圏、中部地方のオフィスまたはデータセンターに情報システムを設置しているが、別の電力会社管内のデータセンターにデータをバックアップしたい。
- ② 電力削減対策のため、別の電力会社管内のデータセンターに情報システムを移設したい。
- ③ 別の電力会社管内のデータセンターに情報システムを新たに構築し、有事の際は現在設置の情報システムから切り替えて利用したい。
- ④ 別の電力会社管内のデータセンターに情報システムを新たに構築し、現在設置の情報システムと負荷分散の形態により並行して利用したい。

なおデータセンターが遠隔にある場合、障害対応や定期運用の際にお客様側の要員が対応し難いという懸念がありますが、弊社のフルマネージドサービスのご利用により、お客様はデータセンターまで移動する必要は一切ございません。インフォリスクマネージのフルマネージドホスティングサービス『Utilityz』は、今回の新サイト開設により東京、大阪、沖縄の3拠点を連携させたサービスも展開していきます。

以上

【インフォリスクマネージ株式会社 会社概要】

商号 : インフォリスクマネージ株式会社
設立 : 1997年1月9日
代表者 : 代表取締役社長兼CEO 高久 勉
所在地 : 東京都江東区東雲1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア8F
資本金 : 409,494千円(2009年9月末現在)
Webサイト : <http://www.inforisk.co.jp/>
事業内容 : 情報リスクマネジメントという視点で、ビジネスの根幹をなす情報システム全体を評価・管理し、企業が情報システムを最大限活用できる環境を構築するためのサービスを提供しています。特にMSP(マネジメント・サービス・プロバイダ)の分野では、草分け的存在として数多くの実績を保有しております。ITILやISO27001/ISMSといった国際、国内基準に準拠したサービスを提供するリーディングサービスプロバイダを目指します。

【日商エレクトロニクス株式会社 会社概要】

商号 : 日商エレクトロニクス株式会社
設立 : 1969年2月24日
代表者 : 代表取締役社長 CEO:瓦谷 晋一
所在地 : 東京都中央区築地7-3-1
資本金 : 143億3,687万5,000円
Webサイト : <http://www.nissho-ele.co.jp/>

【サービスに関するお問い合わせ先】

◆インフォリスクマネージ株式会社 営業本部 営業部

TEL : 0120-796-140
E-mail : sm-all@inforisk.co.jp

【本件に関する報道関係様のお問い合わせ先】

◆インフォリスクマネージ株式会社 事業推進本部 海老原・堤内

TEL : 03-6204-4500
E-mail : info@inforisk.co.jp